

会 議 録

会 議 名	令和5年度 第2回山形市立図書館協議会
日 時	令和6年2月13日（火）午後2時～午後3時30分
開催場所	山形市立図書館 2階 集会室
主 催	図書館
出 席 者	<p>【図書館協議会委員】 伊藤弘昭委員長、井上幸弘副委員長、大城勝利委員、庄司雅和委員、 小鹿泰子委員、三宅功太委員、村形弘也委員、渡邊玲子委員、 山口由美委員、佐々木僚委員、大場恵子委員</p> <p>【教育委員会】 高橋一実教育部長、大沼裕子事務局次長、佐藤哲也社会教育青少年課長</p> <p>【事務局】 阿部宏館長、齋藤久美副館長、池田博幸副館長(兼)管理係長、 中村進二副館長(兼)企画運営係長、峯田久美図書サービス係長</p>
議 題	<p>報告 令和5年度図書館事業について（中間報告） ほか</p> <p>協議 令和6年度図書館事業（案）について</p>
傍 聴 者	なし
審議経過	下記のとおり
資 料 名	<p>令和5年度 第2回山形市立図書館協議会資料（事前配布）</p> <p>令和5年度 第2回山形市立図書館協議会 事前質問・意見と回答（当日配布）</p>
そ の 他	次回の開催日：令和6年6月下旬～7月上旬頃
作 成 者	企画運営係 阿部紘樹

【次第】

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 委員長あいさつ
- 4 報告
 - (1) 令和5年度図書館事業について（中間報告）
 - (2) 中央公民館及び図書館中央分館の魅力アップ事業の実施及び利用状況について
 - (3) 令和5年度利用者アンケートの概要について
- 5 協議
 - (1) 令和6年度図書館事業（案）について
- 6 その他
- 7 閉会

報告、協議については、山形市立図書館条例施行規則第19条の規定により、伊藤弘昭委員長が議長となり、以下のとおり議事（4報告、5協議）を行った。

議長	<p>次第の4報告、(1) 令和5年度図書館事業(中間報告)について、事務局から説明願います。</p>
事務局	<p>令和5年度図書館事業(中間報告)につきまして、ご報告申し上げます。</p> <p>(資料1・別紙)に基づき報告)</p> <p>報告は以上です。</p> <p>事前に質問、ご意見を頂戴していますので、こちらについて、回答、説明いたします。本日配布しました、別紙資料をご覧ください。</p> <p>(「令和5年度 第2回山形市立図書館協議会 事前質問・意見と回答 1」に基づき回答、説明。)</p> <p>事前に頂戴しました質問、ご意見に関しては以上となります。</p>
議長	<p>主に新しい図書館情報システムの説明であった。システムに関しては、今年度の中間報告というより次年度に向けての関わりの方が大きい。システムに関して確認や要望あれば、協議で伺いたいと思う。</p> <p>今年度は山形駅東西自由通路設置の「本のひろば」や出前図書館等、待っているだけではなく外に出向くという活動に着手されているようだ。ご苦労も多いと思うが、より積極的に進めていただけたらよいかと思う。</p> <p>ただいまの件について質問、ご意見はありますか。</p>
渡邊委員	<p>「本のひろば」設置のベンチで休憩している方が多いとお聞きした。休憩されている方がいることで、本を読むことができなかったという声を聞く。ベンチの置き方に工夫があっても良いのではないか。</p> <p>ベンチを一回り大きくしたり、ベンチと書架の間に人が入れるぐらいの広さを確保する、ベンチを書架の隣に円形で設置する等いかがか。</p> <p>書架に近付けるスペースを確保すれば、利用者が本を取りやすくなるのではないかと思う。</p>
議長	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>今のご意見等を参考にして、取り入れられる所があれば取り入れていただきたいと思う。他に、質問、ご意見はありますか。何かあれば最後にまた伺いたいと思う。次に、次第の4報告、(2) 中央公民館及び図書館中央分館の魅力アップ事業の実施及び利用状況について、事務局から報告願います。</p>
事務局	<p>中央公民館及び図書館中央分館の魅力アップ事業の実施及び利用状況につきまして、ご報告申し上げます。</p> <p>(資料2)に基づき報告)</p> <p>報告は以上です。</p>

事前に質問、ご意見を頂戴していますので、こちらについて、回答、説明いたします。本日配布しました、別紙資料をご覧ください。

(「令和5年度 第2回山形市立図書館協議会 事前質問・意見と回答 2」に基づき回答、説明。)

事前に頂戴しました質問、ご意見に関しては以上となります。

議長	<p>ただいまの報告について、本事業は集客や居場所作りという面で非常に大きな効果があると感じた。場所の賑わいは感じられたが、そこに集まった若者が実際に図書館を利用しているのかが気になる。場所の利用だけなのか、図書館にも流れて来ているのか、感覚で構わないので教えていただきたい。</p> <p>また、図書館の新規貸出カード作成者数も増えたとお聞きした。増加した年齢層は、そこに集まる若者が中心なのか、それとも全世代で増加しているのか。可能な範囲で構わないので、集客と図書館の需要という点でどのような感じかを教えていただきたい。</p>
事務局	<p>正確な数字は持っていないが、感覚として若い方というより全体的に増加した印象。特に高校生が多いということではないような気がする。</p>
議長	<p>集客を図書館に繋げられるような取組みがあれば良いのかなと思う。</p> <p>ただいまの件について他に質問、ご意見はありますか。</p>
村形委員	<p>新規貸出カード作成者がオープン後1ヵ月で、1年間の登録者数を上回るの は凄いなと思う。その後の状況について教えていただきたい。</p> <p>もう1点、オープニングセレモニーである「山形まちなか文化祭」は、高校生を取り込む良い取組みであったと思う。これを次年度以降も継続する考えか、高校生側にもそういった想いがあるのかを教えていただきたい。</p>
事務局	<p>オープン後1ヵ月を過ぎた後は、だいぶ緩やかになっている。9月、10月の約2ヵ月で80名を超え、その後は平均で約20名程度。令和6年1月末まで141名。昨年度の新規登録者数は1桁程度にとどまっていたので、緩やかになったとはいえ一定の効果が出ていると思う。</p>
社会教育 青少年課 長	<p>「山形まちなか文化祭」は、社会教育青少年課が企画した「まちなかサードプレイス」事業の成果である。これは、居心地のよい、安心して学ぶことができるサードプレイス(学校でも家庭でもない第三の場所)で同じ高校生の仲間や様々な大人と関わりながら自分の学びを創造するという事業である。そうした居場所を中央公民館に設け、高校生の自主的な企画でやってみようということで、その一環として始まったのが、「山形まちなか文化祭」。</p> <p>「まちなかサードプレイス」事業からは外れてしまうが、この企画を経験した高校生からは、「自主的に集まって来年もこの取組みをやりたい」という声が上がっており、「来年度また中央公民館を会場にして開催できないか企画を進めている」という事を聞いている。また、「中心商店街の方々からも色々ご</p>

協力をいただき、街の大人たちと良い関係を築きながら文化祭を成功させていきたい」という事も聞いている。社会教育青少年課としても、色々と相談があれば実現に向けて支援していきたいと考えている。

議長

オープニングセレモニーに参加したが、最近の高校生はしっかりしているという印象であった。せっかく高校生がやる気になっているのであれば、それを活かしてあげる場や枠組みを恒例のイベントとして継続していただければ、街中の活性化に繋がっていくのではないかと思う。高校生にやる気がある、興味があるという段階で、ぜひ機会を設けていただくようお願いしたい。図書館の賑わいにも繋がっていくと思うのでよろしくをお願いしたい。

他に実際に様子を見た感想や要望等あれば伺いたい。

後ほどご意見あるようであれば伺いたいと思う。

次に、次第の4報告、(3) 令和5年度利用者アンケートの概要について、事務局から報告願います。

事務局

令和5年度利用者アンケートの概要につきまして、ご報告申し上げます。

(資料3に基づき報告)

報告は以上です。

事前に質問、ご意見を頂戴していますので、こちらについて、回答、説明いたします。本日配布しました、別紙資料をご覧ください。

(「令和5年度 第2回山形市立図書館協議会 事前質問・意見と回答 3」に基づき回答、説明。)

事前に頂戴しました質問、ご意見に関しては以上となります。

議長

事前質問の「日本十進分類法の指導」は、公共図書館の努力も必要だが、学校図書館の分類は指導要領「情報活用能力の育成」の標準項目として設定されているようだ。各学校に対し、調べ学習や総合学習等で日本十進分類法を知る機会を設ける働きかけを公共図書館がするというのは微妙であるかと思う。公共図書館で日本十進分類法を理解していただく機会があれば、という趣旨ではないかと思う。

ただいまの報告の件について、他に質問、ご意見はありますか。

井上副委員長

先日、幼児を対象とした絵本の読み聞かせ講座を行い大変好評であった。その講座に参加した子ども連れの親から、講師であるボランティアメンバーが「お湯をもらえないか」と言われ、図書館職員に対応を依頼したようだ。

残念ながら、現在の市立図書館は滞在型の図書館ではないように感じる。アンケートにもあるが、設置されている授乳スペースも満足とは言えない。子どもが利用しやすいようトイレを洋式化するとか、子どもを寝かせたりオムツ交換するスペースを作る事は建物の構造上大きく変えることができないかもしれないが、少し手を加えて、手洗いができたりお湯が調達できたり等、子ども連

	<p>れの親が来館しても対応できるようにしていく必要があるのではないか。速やかな回答とは言わないが、この現状の中でも、もう少しこうした方が若い親が利用しやすくなるのではないかと、子育て支援施設等の意見等も聞きながら考えていただきたい。本来であれば新しい施設に建て替えることが理想だが、今ある中でできることをぜひ検討していただきたいと思う。</p>
議長	<p>大変貴重なご意見だと思う。子ども向け講座を充実させていくのだとすれば、子どもを連れてでも安心して参加できるという要素は大きなポイントになるかと思う。ただ、環境面をなかなか大きく変えていくのは難しい。協議会委員の皆様の中にも児童専門の方がいらっしゃるので、ご意見やアドバイスをいただきながら目指していただきたいと思う。</p> <p>他に質問、ご意見等がありますか。</p>
山口委員	<p>山形市は、地区毎に月に数回、子育てサロンという活動を行っている。自分も自身の地区で携わっているが、小さいお子さんを連れてお母さんで授乳をしたいという方がおり、コミュニティセンターの和室を借りたり、仕切りを用意したりして急遽対応している。</p> <p>今回リノベーションを行った中央公民館のような新しい施設だけにしっかりした設備を設置するのではなく、図書館もこうした所の改善からしていくべきではないかと思う。</p>
渡邊委員	<p>子どもが小さかった時と現在を比べると、気になるのは子どもの声。子どもが楽しくなって騒いだ時に図書館では静かにさせなければいけないという事があるが、子どもを楽しませたいというジレンマもある。市立図書館は空間が広く声が響く。県立図書館は空間が別れており、子どもがある程度騒いでも親子で楽しい時間を過ごせる。大がかりになるかもしれないが、空間を分けるとか、こちらで絵本を読んでも大丈夫という場所があると、若い親子は図書館に来やすくなるのかなと思う。</p>
議長	<p>施設そのものを変えるのは難しいと思うが、切実な要望であると思う。</p>
井上副委員長	<p>初めからそうしたことを想定して建てられた図書館ではないので、この図書館ではなかなか難しいと思う。以前から静かでないのが普通であった。最近の新しい図書館は、部屋となって仕切られているようだ。</p>
山口委員	<p>新しい図書館を考える時の意見として、子どもは喜んでいる時に声を上げるのが当たり前。それを静かにするように言うのは親にとって忍びない。その辺りは皆さんご理解あると思う。</p>
渡邊委員	<p>市立図書館は「子どもの声を出しても良いですよ」とアピールするのはいかがか。</p>
議長	<p>皆さん切実な要望があると思う。親目線で工夫ができる所は配慮していただきたい。</p>

大きな要望としては、新しい施設が欲しいということ。来年度すぐにはできないかと思うが、市立図書館を割り切って子どもの声出しができる特化型とし、県立図書館と機能分担するという一つの考え方もあると思う。

教育部長

大変貴重な意見ありがとうございます。

利用者の方には様々な年代の方がいて、これは難しい問題だと思っている。中央公民館でも類似の話題が上がっており、一生懸命勉強をしている高校生がいる一方で、公民館として語らう場所として利用している方もいる。高校生の中でも、その語らう声が気になる方がいる一方で、友達と話をしたいという方もいる。様々な意見があり、限られた空間で色々な事をする難しさがある。多くの方に来ていただきありがたいが、たくさん来ていただく分だけ課題があると痛感している。図書館においても、お子さんにも来ていただき本に親しんでいただきたい。小さい子にとっては生涯本に親しむ大切な時期なので、そうした声出しの機会を提供したい一方、静かに本に親しみたいという方もいらっしゃる。今アイデアをいただいたので、これまでも模索はしているが、他自治体の取組例等も情報収集をして皆様からもご意見をいただきながら、限られたスペース、予算で何ができるかを考えていきたいと思う。

行政視察等で他の施設を見た時に、専用の授乳スペースがあったり、しっかりとお湯が提供されている図書館も存じている。そこまでできなくても何ができるかを考えていきたいと思う。

議長

全てを支障なく成り立たせるということは難しいと思うが、人としての視点を大切にできる所から取り組んでいただければと思う。

それでは、続いて協議に入らせていただく。

次第の5協議、(1) 令和6年度図書館事業(案)について、事務局から説明願います。

事務局

令和6年度図書館事業(案)につきまして、ご報告申し上げます。

(資料4・別紙に基づき報告)

報告は以上です。

事前に質問、ご意見を頂戴していますので、こちらについて、回答、説明いたします。本配布しました、別紙資料をご覧ください。

(「令和5年度 第2回山形市立図書館協議会 事前質問・意見と回答 4」に基づき回答、説明。)

事前に頂戴しました質問、ご意見に関しては以上となります。

事務局

資料4 別紙「取組5 学校図書館との連携と教育活動への支援」について補足して説明する。現在、市立図書館では団体貸出制度(図書館が学校の先生から依頼を受けて、授業のテーマに関する本を収集し貸出しする)があるが、新たに「児童・生徒読書応援プラン(仮称)」として、図書館が学校に図書を配

	<p>達できないかということを検討している。他にも、学校から配布されているタブレット端末を活用して、図書館が出向き市立図書館の本の検索の仕方を教える出前講座をすること等も検討している。学校現場のニーズを把握し、実現に向けて検討していきたいと考えている。</p>
議長	<p>団体貸出について、資料1取組5（2）①団体貸出の実績「27校」というのは、継続的に同じ学校が利用しているということか。新規で利用している学校はあるか。団体貸出を広げるためには、校数が大事かと思う。</p>
事務局	<p>新規というより、実績がある学校からの継続した利用が多いと思う。ここ数年は実施できていなかったが、校長会に出向き団体貸出制度を広報周知したこともあった。学校図書館の先生が集まる会議の中でも紹介させていただいている。先程の取組み等を検討する中で、ニーズを掘り出したいと思う。</p>
議長	<p>一回関係ができると継続的に広げていけるのかなという面があるので、なるべく多くの学校に知ってもらうことが大事。一度利用があると定着していくのかと思う。</p> <p>他にご意見、要望等ありますか。</p>
大城委員	<p>電子書籍について、要望というより私の考えについてお話ししたいと思う。</p> <p>先日、芥川賞受賞者の市川沙央さんが受賞会見の中で「読書のバリアフリー化」についてお話された。私はこれまでペーパーで本を読むという事しか頭になかったが、このたび市川さんの本を読み、障害を持った方が非常に苦勞して本を読まれているということを知りショックを受けた。</p> <p>現在、山形県子ども読書活動推進計画の策定に関わっているので、電子書籍がどのように進んでいくのか興味を持ち色々調べてみた。今回の会議資料のアンケートで電子書籍導入は意見が分かれていると読み取ったが、電子書籍は読書バリアフリー法の観点だけではなく、図書館から離れた場所に住んでいたり、ご高齢の方で本を持ってページをめくるといった動作が難しい方にもメリットがあるようであった。</p> <p>学校現場では現在タブレット端末が導入されている。実状として子ども達はタブレット端末が珍しく、すぐ飛びついて調べ学習を行う。ところが、現場の先生と話をすると、情報量が多すぎて結局は図書室に行って図鑑等を見ちゃう実態があると聞いている。電子書籍は普及しているが、実際タブレット端末ばかり見ていると目が疲れるので、どちらかにいきなり振れるのではなく、これからは両方が共存していく世の中になるのではと思う。私は本というとペーパーの方であるが、家族は電車の中で立ちながらスマートフォンを使って本を読むことができるので便利だと言っていた。</p> <p>これから学校で電子書籍の貸出しを行っていく上で、もちろんお金もかかるが様々な背景を持っている方もいらっしゃるのでは、それらを丁寧に調査していただきたいと思う。</p> <p>子ども達にとって、タブレット端末は読書の入口として有効かと思う。一方、図書室で静かに落ち着いて本を読みたいという子ども達もいるので、導入に当たっては色々調査していただきながら進めていただきたいと思う。</p>

	<p>先程話のあった、小学校長会に来ていただき団体貸出しの話をしていただく事も歓迎する。</p>
議長	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>電子書籍は、特に予算的な面で色々とネックになるかと思う。</p> <p>これまで手が届かなかった、見逃されていた所といったような視点であった。今回のアンケートだけ見ると、電子書籍はそこまで定着していないのかなという印象を受けた。読書バリアフリー等も鑑みて、図書館だけの問題ではなく学校現場も含めてどういう形が現実的なのかを含めて検討していただきたいと思う。</p>
井上副委員長	<p>現在の「図書館 Kids」は、図書館が高校生に展示を任せたり、「本のひろば」でコーナーを作ってもらったり、図書委員の生徒に「本の福袋」に参加してもらおうこと等の活動を紹介しながら職員が工夫をして作っている。</p> <p>当初の「図書館 Kids」ターゲットは小中学生であった。特に小学生が中心で、各学校の生徒に「こんな本が面白かった」という推薦文を書いてもらっていた。学校にお願いしたり、資料を色々と取り寄せたりするという手間が大変であった。現在の「図書館 Kids」の作成方法も良いが、もう少し子ども達自身が参加し発表するようなやり方も検討していただいても良いのかなと思う。</p>
議長	<p>ありがとうございます。</p> <p>子どもを中心とした話題が多いように感じるが、大人目線ということで商工会議所青年部の三宅委員はご意見いかがか。</p>
三宅委員	<p>これまで協議会に参加して、子どもたちをどのように図書館に通わせるか、本に触れさせるかというのがこの協議会の主な会議内容だと思っていた。青年部でも話し合ってみたい。</p>
議長	<p>子ども目線だけではないので、今後気付いた点があれば教えていただきたい。図書館の方でも色々な年代の意見を伺える貴重な機会かと思う。</p> <p>他にご意見、要望が無ければ、今回の協議会は終了とさせていただきます。</p> <p>それでは、これで議事を終了する。ありがとうございました。</p>